

早雲だより

2026.1.15

第169号

歴史グループ早雲

第一八六回 歴史ハイキング 報告

近江高島 大溝の水辺の散策

大溝城址・大溝藩の町並み・

藤原仲麻呂の乱の古戦場をめぐる

2025年11月16日(日)

第186回 歴史ハイキングで周辺の城下町が整備されました。近江高島の大溝を散策してきました。

ハイキング日和の好天に恵まれ参加者は22名でした。今回は奈良時代の「藤原仲麻呂の乱」の古戦場となった乙女ヶ池、戦国時代後期の大溝城跡、江戸時代の大溝藩の町並みを巡りました。

大溝の概要

総門にある「まち並み案内処」から頂いた資料の大溝の概要は「大溝は、古くから都のあった奈良や京都そして日本海を結び交通の重要拠点として発達しました。琵琶湖岸には「勝野津(かつのつ)」と呼ばれる港があり、

〈略〉。

戦国時代末に、洞海(どうかい)(現之女ヶ池)を濠に取り

大溝藩(藩主は分部家・立藩1619年・廃藩1871年)

込んだ大溝城が築かれると、その後は歴代の城主・藩主によって土塀で区画された武家地と町人

地は分けられていました。大溝陣屋の正門として作られたのが「総門」です。武家(屋敷)地と町人地の境界となっています。



(写真) 総門



(写真) 資料室

総門の資料室で大溝城をCG映像で再現した紹介動画「よみがえる大溝城―織田信長が築かせた水城」で大溝の歴史を学んでまちめぐりに出発しました。大溝藩廃藩の後武家屋敷はほとんど残らず武家屋敷跡として残っている家屋から当時をしのぶことは難しかった。ここが郭内といわれる武家屋敷区域であることを確認しました。次に大溝藩主分部家の菩提寺の圓光禪寺にお参りしました。次に藩校の脩身堂(8代藩主分部光実が1785年創設した。1871年



(写真) 武家屋敷跡

廃藩により廃校) 跡を見学しました。



(写真) 圓光禅寺 (M氏撮影)



(写真) 大溝藩主分道家墓所 (M氏撮影)



(写真) 修身堂 (藩校)



(写真) 古式水道 (タチアカリ)

次に大溝藩内の武家屋敷の生活用水を賄った古式水道の「タチアカリ」と町人地の生活用水賄った「町割り水路」を見学しました。武家屋敷の水源は山水または山の湧き水です。町人地



(写真) 町割り水路

は湧き水でした。町割り水路を見学して、江戸時代に町中に付け替えられた「西近江路」を通ってかつての勝野津を忍ばせる大溝湊を経由して乙女ヶ池に向かいました。

藤原仲麻呂の乱

乙女ヶ池は眞珠養殖に際し

「河海」から改名したとのこと。

池に架かる太鼓橋を渡って対岸へ向かいました。この地は奈良時代に平城京での政変(藤原仲麻呂の乱(64年9月))に失敗した藤原仲麻呂が逃亡の末、朝廷(謙上皇・道鏡)軍の猛攻に



(写真) 乙女ヶ池 (M氏撮影)

あ、この池から琵琶湖へ脱出しようとして捕まり処刑された場所です。家族もここで処刑されました。

大溝城跡



(写真) 大溝城跡 (本丸)

太鼓橋から池沿いを北へ進むとやがて大溝城本丸跡にたどり着く。大溝城は織田信澄が1578年に築城、1595年に解体、1616年 一国一城令により廃城となりました。

わずかに石垣が残っていて石段を登ったところが天守台です。本丸跡の南に二ノ丸・東に三ノ丸を配置した梯格式城郭。西の守りを固めているのは大溝城のあった頃の街道は西側の山麓を通っていたから西の守りを固めたとのこと。

織田信長の戦略で琵琶湖を制するため長浜城・坂本城・安土城として大溝城を拠点にした。天守の軒瓦は安土城と同じものを使っていることや城主に甥の織田信澄を置いたことから重要拠点としていたことが偲ばれる。本能寺の変で織田信長が倒れ、信澄も誅殺されました。その後城主が次々変わった大溝城は新しい藩主を待たず廃城となりました。

ここから近江高島駅向かいハイキングを終りました。

(コース)

JR近江高島駅～総門(資料室)
～武家屋敷跡～圓光禅寺～脩身
堂跡(藩校)～古式水道～町割
り水路～勝野津～太鼓橋(乙女
ヶ池)～大溝城跡～近江高島駅

一口感想

H・MA

今回の散策、非常に詳細な資料提供、並びに現地での丁寧な説明を誠に有難うございました。ハイキング中の絶景は

「乙女池」。ゆるやかなアーチを描く太鼓橋。水面のきらめき湖面に映る空など非常に印象深かったです。私は城跡巡りが

趣味で、「大溝城跡」を既に三度訪れています。井上代表のご紹介にあった通り織田信長の甥・織田信澄が明智光秀の設計

に基づき築いた水城で安土城・坂本城・長浜城と共に織田

家の琵琶湖水運掌握拠点、また「乙女池」はこの城の外堀。興味の尽きない城跡です。なお大溝には蝦夷地探検で有名な近藤重蔵の墓が在る「端雪院」、

五基の豪華絢爛な曳山が城下町を巡行する。大溝祭(5月4日)の「日吉神社」、日吉神社の裏山・見張山山頂には「打下城跡」等がありますので、

機会があれば是非再度お訪ねください。

◇◇◇◇

M・MA

お天気良し、お世話係良し、参加者良しで、近江高島三方良しの一日だった。

歴史に疎い私は織田信長の甥で明智光秀の娘婿、織田信澄が基礎を作った街と初めて知りました。昔の人は素晴らしいかと感動！

もし信長が死ななかつたらとあれこれ思いを馳せました。できればもう一回、復習に訪れたいと思います。

◇◇◇◇

M・OO

久しぶりに参加できてうれいす。JRの事故で列車到着が遅れ、ハラハラドキドキしました。駅で皆さんの顔を見て一安心しました。乙女ヶ池にか

かる太鼓橋は印象的でした。大溝の水辺の散策は初めての体験

となりました。大織田家の琵琶湖水運掌握の拠点

◇◇◇◇

「早雲」のグループラインに

入れてもらいました。よろしくお願ひ致します。

大溝は、古くから都のあった奈良や京都そして日本海を結ぶ交通の重要拠点として発達してきた。今回は、その歴史を学び

ていた。672年に起こった壬申の乱、764年に起こった藤原仲麻呂(惠美押勝の乱)でも史跡散策

の際に訪れた乙女ヶ池周辺が戦場となった。

戦国時代には織田信長の甥織田信澄(津田信澄)がその立地の重要性から大溝城を任せられ、安土城、長浜城、坂本城と共に

次女お初と結婚した京極高次が新婚生活を送った大溝、江戸時代初期に伊勢国から大溝に入

った分部氏がその後一度も国替えもなく明治維新を迎え、現在も

◇◇◇◇

Y・MU

散策は、どのような景色が待っているのだろうか、今から楽しみ

だ。比良山系の紅葉も少し早く、

H・MO

いきました。◇◇◇◇

その痕跡。武家屋敷、古式水道(タチアガリ)、町割り水路、乙女ヶ池、大溝城跡等々を巡り楽しく充実したハイキングを堪能させて頂きました。ありがとうございました。

今回の歴史ハイキングはスタッフさん、Hさんに計画をお願いしました。ありがとうございました。

◇◇◇◇

【編集後記】

H・MOさんの一口感想の「何処の地でも歴史はあるもの」以上で大溝は興味深い所でした。

早雲だよりに載せきれないもの説明で概要を掴んでの散策。何が多々ありました。今回見学を省略した箇所も多々あります。

良時代の藤原仲麻呂の乱の古戦場、織田信長の琵琶湖水運の掌握のための築城、浅井三姉妹の

ありがとうございました。